

## 事業の基礎情報

事業実施地域	メインエリア：倶知安町（北海道虻田郡） 周辺エリア：ニセコ町（北海道虻田郡）・蘭越町（北海道磯谷郡）
人材育成の対象	観光事業者で送迎車両の配車・運行担当者／交通・運送事業者／行政の総合政策・観光部門 等
人材育成の手法	先進地視察／先進事例の実施担当者による講座／課題解決に資する技術開発を行う専門家等とのWS
人材育成の内容	A.短中期的：喫緊の課題である渋滞対策に資する施策の実施・運用を行うことができる実務者の育成 B.長期的：新幹線開業後の大量輸送に資する交通の検討可能な行政職員・交通・観光事業者等の育成
想定育成人数	A 15名程度 B 10名程度 （計25名程度）

## 取組の概要

## （現状の地域課題と事業目的）

- 〔課題1〕▶ 輸送力不足（運転手不足等）により、観光・生活の双方で移動利便性が確保できていない  
 〔課題2〕▶ 旅客や従業員の送迎サービスが未連携・乱立状態にあり、深刻な渋滞の要因になっている  
 〔課題3〕▶ 2030年には新幹線開業が見込まれ、新幹線駅から大量の観光者等を輸送するモビリティの運用が必要

- 〔目的A〕▶ 喫緊の課題である渋滞対策に資する施策の実施・運用を行うことができる実務者の育成  
 〔目的B〕▶ 新幹線開業後の大量輸送に資する交通を検討可能な行政職員・交通・観光事業者等の育成

## （事業の概要）

## A 渋滞対策に資する施策の実施・運用を行う事業者

- ① 送迎車両の配車・運行マネージャー
- ② 先進地の実務担当者による講座・システムを活用したシミュレーション
- ③ 各社が持つ実際の運行データから、最適配車による送迎車両の削減プランを立案
- ④ 効率的な運用による送迎車両台数や輸送頻度の削減方法

## B 大量輸送に資する交通の検討を行う行政・交通・観光事業者等

- ① 行政・交通・観光事業者等
- ② 先進地視察・技術開発を行う専門家等とのWS
- ③ 索道やBRTなど大量輸送を可能とするモビリティの講義や先進地視察を通じて、ニセコエリアで方向性を検討
- ④ メリデメを捉えた新たなモビリティ導入の知識・コーディネート能力

## 取組の詳細

### (事業により見込まれる効果)

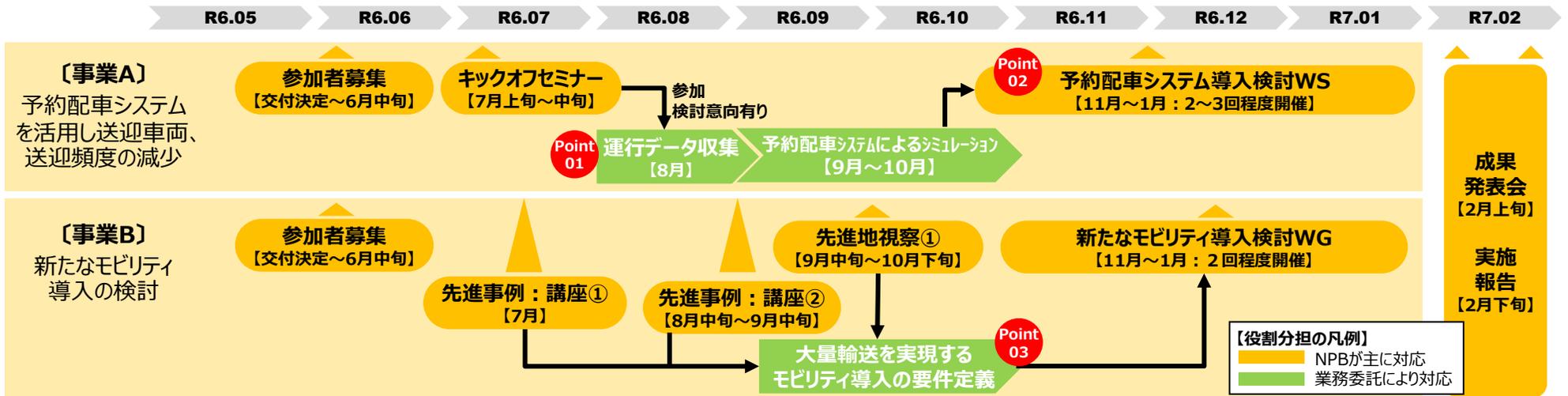
#### 〔事業Aの効果〕

- ・予約配車システムを活用し送迎車両、送迎頻度の減少に取り組む観光事業者の増加：0社→5社
- ・送迎車両、送迎頻度の減少に起因した交通渋滞の緩和・路線バスの定時性向上（令和7年度から効果が発現予定）

#### 〔事業Bの効果〕

- ・ニセコエリアにおける新幹線開業後の新たなモビリティ導入の検討体制構築

### (事業実施手順・スケジュール)



#### 【課題解決を実現するための工夫・ポイント】

- Point01**：予約配車システムによる車両削減や送迎頻度の減少を実データを用いたシミュレーションを実施し、効果の可視化によって取り組む団体の機運を醸成。
- Point02**：シミュレーション結果を用いて、具体的に予約配車システム導入の検討を行うWSを開催し、導入費用や時期、運用ルール等を明確化する。
- Point03**：先進事例の専門家や実務者を招聘した講座や先進地視察を通じて、ニセコエリアへの新たなモビリティ導入の要件定義を行い、その結果を踏まえて導入検討WGを開催する。

### (補助事業実施後の予定)

〔事業A〕送迎車両を運行する観光事業者が予約配車システムを導入し、送迎車両、頻度の減少を実施。

〔事業B〕2030年の新幹線開業を見据え、新たなモビリティ導入検討WGを継続実施。